

令和7年度総会・懇親会を盛大に開催 新体制の船出と今後の活動基盤を確立



石 桜 同 窓 会
盛岡市長田町
岩手高等学校内
info@sekiou-ob.com
TEL 019-624-4445
FAX 019-651-3454
印刷山口北州印刷(株)

新田校長

村井会長

9。 衆生のク悉竜でございま

石桜同窓会新会長 久慈 竜也



れて来年は百年を迎えます。
この百年の歴史を持つ岩手
中・高等学校を卒業された
同窓の皆さんの代表として
村井紀之前同窓会長様から
8月開催の同窓会総会にて

張る思いであります。この部活動支援は、同窓会としても大きく力を注ぎ、マイクロバス2台の寄贈を実行するなど、生徒諸君の行動範囲を広め活躍を期待します。岩手県出身の大学生の生活サポートとして学生会館がありますが、通学条件等で入居できない学生がいます。地元を離れ独りで生

いただきたいと存じます。

来年百周年を迎える母校を更に盛り上げていく所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。就任のあいさついたします。

会長を仰せつかりました。
一昨年に本同窓会は設立
九十周年を数え盛大にその
祝賀をされたところであり
ます。

ものであります。
今の日本の人口構成は少子高齢化が急速に進み、我が同窓会も高齢化が顕著であります。

活せざるを得ない学生は物価高騰における生活苦があると思います。私は東京都内に在住する者として、岩手高校を卒業し首都圏で苦

に於ては、昭和7年度一般会計・特別会計・クラブ強化育成基金予算(案)について、第5号議案…石松同窓会会則の一部改正について、そして、第6号議案として、役員改正が審議された。

次に、石桜同窓会フェ
賞の表彰について報告
れた。今回は小笠原常之
(新17回生)をはじめと
がされた。

感謝状受賞の武藤



会言・クランツ強行育成基金
決算報告並びに監査報告につ
いて

第3号議案…石桜同窓会
令和7年度事業計画（案）
について

第4号議案…石桜同窓会
生徒たちの安全かつ円滑な
活動の後押しするために、
同窓会が多大な資金を投じ
て実現した重要な事業であ
る。この支援を通じて、同
窓会が母校の教育活動、特

に強い熱意を持って取り組み、多大なる貢献をされた3名の方々に心より感謝の

され、滞りなく承認された。
第1号議案…石桜同窓会
令和6年度事業経過報告に
ついて
第2号議案…石桜同窓会
の寄贈は「母校クラブ活
動を積極的に支援する」と

君（新20回生）、常任理事赤澤征夫君（新9回生）の3名である。村井前会長は、「今回、執行部が変わるにあたり、この8年間、コロナ禍など様々な困難な時期

議長選出においては、事務局への一任を経て、戸均君（新21回生）が選出された。議長のもと、下記の各議案が慎重に審議された。全ての議案は、理事会（金子真也君、新37回生）が新副会長に就任するなど、新しい役員体制が正式に発足し、同窓会の歴史は新たな局面を迎えることとなった。

新体制への移行に伴い、長きにわたり同窓会の運営に尽力された方々への感謝状贈呈式が執り行われた。今回、感謝状が贈られたのは、副会長 武藤正吾君（新14

神」を胸に全力を尽くしている」と報告。学校に元気がないという声もあるからこそ、今後とも応援とサポートをお願いしたいと呼びかけ、2年後に迎える創立100周年へ向けた協力も

長年にわたり会を牽引してきた旧役員の任期満了に伴い、新役員体制案が提案され、総会の承認を得て可決された。これにより、久慈竜也君（新30年生）が新会長に、名久井淳君（新29回

する藝名が受賞したことが改めて参加者に報告された。受賞者たちの多岐にわたる活躍は、同窓生たちの誇りであるとともに、後輩たちへの大きな激励となった。

マイクロバスの贈呈

赤澤常任理事

熊谷副会長

新会長就任の久慈竜也氏

総会後、会場をそのまま利用し、懇親会がスタートした。今回は「1」のつく回生が運営。司会は、新61回生で野球部出身の中村公紀君が務め、若さあふれる

君（新30回生）が先に秋田の経済大学の推薦枠を獲得したため、会長が希望していた枠が埋まってしまい、結果として自身は北海道の函館大学に進学することになったという話である。「宮

への敬意が、新体制の活動の基盤にあることを示した。さらに、同級生ならでの親しみやすいエピソードが披露された。それは、高校卒業時の進学の際、宮田

る出来事に触れた。その際、同窓会の諸先輩方や先生方から受けた温かい、そして計り知れない支援に對し、「本当にお世話になりました」と改めて深い感謝の今

開会の挨拶には、新会長に就任した久慈君（新30回生）が登壇した。久慈新会長は、まず自己紹介を行い、自身が岩手高校の3年生の時に校舎が火災に遭ったと

石 桜 同 窓 会

賛 助 会 費

令和6年6月1日～令和7年5月31日

21 年目もありがとうございました。

～今回は 1,243,500 円となりました～

(個人名)	(金額)	(回生)	菊 地 輝 之	2,000	13	竹 原 純 悦	2,000	18	櫻 井 滋	30,000	26	大 橋 潤 一	2,000	50
菱 川 貞三郎	2,000	旧 17 後	小 原 紀 彰	20,000	13	谷 藤 芳 榮	6,000	18	日 向 雅 仁	2,000	26	柏 谷 繁	2,000	50
岩 長 宏	6,000	2	谷 村 力	2,000	13	藤 岡 知 昭	10,000	19	上 田 公 一	2,000	26	藤 原 秀 徳	6,000	51
渡 辺 勇次郎	2,000	2	葛 原 宏 治	10,000	13	大 谷 潔	10,000	19	金 谷 純 一	2,000	27	本 多 真 之	2,000	52
梅 津 敏 昭	2,000	3	福 田 稔	2,000	13	鎌 田 眞 逸	10,000	19	立 花 春 男	2,000	27	米 澤 佑 太	2,000	53
四 戸 和 彦	2,000	3	横 沢 大 造	6,000	13	松 浦 雅 嗣	10,000	20	下 田 裕 昭	10,000	27	奥 良 之	2,000	54
上 田 勝 彦	2,000	4	福 田 武 彦	4,000	13	高 橋 幸 一	4,000	20	菱 谷 和 彦	2,000	28	岩 間 昭 造	2,000	55
多 田 豊 彦	2,000	4	中 村 栄 孝	4,000	14	佐 藤 義 和	2,000	20	照 井 勝 也	4,000	29	熊 谷 一 城	2,000	55
高 山 一 元	10,000	4	瀬 川 徹 夫	10,000	14	坂 下 政 幸	2,000	20	名 久 井 淳	2,000	29	宮 澤 遼 平	2,000	56
高 山 一 元	70,000	4	村 田 勝 利	10,000	14	鷺 塚 正 義	2,000	20	羽 沢 寿 隆	2,000	30	奥 直 之	2,000	57
渡○邊○真由美	2,000	5	武 藤 正 吾	10,000	14	吉 田 英 保	2,500	20	藤 澤 透	2,000	30	田 口 智 康	50,000	58
城 守 英 彦	2,000	6	佐 藤 弘 吉	10,000	14	高 橋 隆 一	4,000	20	吉 田 昌 之	6,000	30	米 澤 聖	2,000	59
宇夫方○康○夫	6,000	6	熊 谷 正 弘	4,000	14	長谷川 良 久	2,000	20	佐々木 隆 孝	2,000	31	吉 田 大 祐	2,000	59
駒 井 蓉 一	2,000	7	横 田 雄 司	2,000	14	鍋 倉 正 克	2,000	20	菅 原 一 也	2,000	31	高 橋 康 介	2,000	59
伊 藤 一 也	10,000	7	沼 田 力	6,000	15	花 井 裕 一	2,000	20	久保田 仁 恒	2,000	32	久 慈 和 也	2,000	59
山 本 充 夫	6,000	7	栃 内 秀 彦	10,000	15	高 橋 雪 夫	10,000	20	鈴 木 俊 哉	10,000	32	小山田 裕 樹	6,000	60
宮 永 弘 守	8,000	7	肥 田 秀 彦	10,000	15	泉 澤 則 夫	4,000	20	竹 田 浩 人	2,000	33	熊 谷 和 樹	2,000	61
伊 藤 健 次	2,000	7	高 橋 敏 明	10,000	15	遠 藤 勝 己	10,000	20	鳥 居 智	10,000	34	中 村 公 紀	2,000	61
後 藤 康 文	10,000	8	細谷地 祐 助	2,000	15	森 田 明 典	2,000	20	工 藤 優	2,000	34	久 慈 智 也	2,000	61
鎌 田 耕一郎	2,000	8	佐 藤 正 隆	2,000	15	小 原 政 憲	4,000	20	山 内 徹	2,000	35	遠 藤 恭 平	2,000	61
多 田 清 吾	10,000	8	内 藤 直 樹	2,000	15	米 倉 吉 一	2,000	20	岩 館 久 志	2,000	35	野 中 凌	2,000	62
高 木 智 徳	2,000	8	山 本 茂 紀	4,000	16	藤 澤 知 保	2,000	20	戸 張 聡	20,000	35	佐々木 駿 介	2,000	64
平 井 衛	2,000	8	峠 徳 美	2,000	16	吉 田 行 夫	10,000	21	岩 渕 俊 明	2,000	35	板 澤 孝 哲	2,000	64
宮 野 正 夫	10,000	8	玉 山 幸 男	2,000	16	武 田 眞 和	10,000	21	渡 辺 昌 文	2,000	36	田 口 智 之	50,000	65
吉 田 健一郎	4,000	8	小 田 宏	10,000	16	明 戸 均	10,000	21	金 子 眞 也	20,000	37	澤 井 瑠 架	2,000	65
兼 平 甚三郎	2,000	8	細 野 龍 彦	2,000	16	青 山 信 義	4,000	21	陸 田 秀 之	2,000	37	武 田 幸 直	2,000	65
磯 崎 公 一	2,000	9	滝 浦 弘 士	2,000	16	黒 澤 重 人	2,000	21	石 井 涉	2,000	37	長 澤 央 樹	2,000	67
小 林 泰 宏	10,000	9	越 戸 國 雄	2,000	16	佐々木 幸 雄	2,000	22	新 沼 裕 一	10,000	37	田 中 尚 太	2,000	67
山 田 耕 三	10,000	9	見 世 久 也	2,000	16	南 黒 沢 智	2,000	22	小 林 純	2,000	39	金 子 耀 大	10,000	69
府 金 利 廣	2,000	9	中 澤 正 博	10,000	17	楠 山 義 彦	10,000	22	佐 藤 健	2,000	40	遠 藤 雅 之	2,000	70
高 橋 明	2,000	9	昆 幸 彦	4,000	17	高 橋 明 典	2,000	22	西 郷 史 郎	10,000	40	遠 藤 雅 之	2,000	70
佐々木 英 雄	10,000	9	小笠原 常 之	10,000	17	小田中 富士雄	2,000	22	東 本 茂 樹	2,000	41	樋 口 俊 文	2,000	73
小 枝 指 博	2,000	9	小 野 義 郎	2,000	17	太 田 政 幸	2,000	22	松 浦 真 司	2,000	42	田 中 謙二郎	2,000	74
松 岡 直 彦	2,000	10	柴 田 厚 郎	10,000	17	菊 地 弘 之	2,000	22	柴 内 宏 治	2,000	42	鈴 木 森 羅	2,000	74
菊 地 治 雄	10,000	10	小 暮 信 人	20,000	17	伊 藤 賢 二	2,000	23	村 上 振一朗	2,000	43	梅 里 爽 希	2,000	74
重 茂 佳 伸	2,000	10	照 井 駿 一	4,000	17	佐々木 哲 也	10,000	23	武 田 隆 継	10,000	43	鈴 木 偉 風	2,000	76
横 矢 裕	10,000	11	小笠原 秀 孝	10,000	17	古 賀 和 俊	10,000	23	千 葉 基	2,000	43	小笠原 徳 雄	6,000	中学 9
菅 原 國 嘉	4,000	11	竹 原 純 悦	2,000	18	馬 場 博 明	6,000	23	齋 藤 恵 亮	2,000	43	高 橋 昌 造	4,000	
長 澤 佳 彦	4,000	12	米 谷 春 夫	10,000	18	千 田 幸 司	2,000	23	小 野 寺 司	2,000	44			
猿 館 宣 明	2,000	12	兼 平 俊 朗	2,000	18	上 村 章 夫	4,000	24	白 戸 一 隆	10,000	44			
菅 原 紀 繁	2,000	12	工 藤 和 夫	2,000	18	井 上 成 一	5,000	24	宮 本 憲 彦	4,000	45			
田 村 隆 一	2,000	12	藤 野 光 宏	2,000	18	川 村 市 宜	10,000	24	山 崎 秀 樹	10,000	46			
平 賀 武 彦	4,000	12	高 橋 弘 一	2,000	18	吉 田 一 美	2,000	24	井 上 雅 友	10,000	47			
石 村 亘	4,000	12	八 重 嶋 一 守	2,000	18	吉 田 祐 一	2,000	25	曾我部 光 宏	2,000	48			
石 村 亘	4,000	12	吉 田 勝 次	4,000	18	晴 山 弘 己	10,000	25	永 田 睦	2,000	49			
細 川 正	4,000	12	井 上 利 一	2,000	18	千 葉 昭 彦	2,000	25	坂 下 幸 輝	2,000	49			
鬼 柳 隆 雄	2,000	13	村 井 紀 之	20,000	18	佐 藤 順	2,000	25	中 村 史 幸	2,000	50			
佐 藤 勝 彦	2,000	13	村 田 憲 正	2,000	18	三 浦 由 太	2,000	26	日下部 慶	2,000	50			

(団体名)	(金額)
日大石桜会	20,000
小 計	1,243,500
手 数 料	43,118
合 計	1,200,382
(2024/6/1～2025/5/31)	

・個人	賛助会費フエロー賞
藤 根 俊 一 (新 29 回)	
加 藤 恵 (新 4 回)	
八 重 金 十 郎 (旧 11 回)	
中 村 一 雄 (旧 15 回)	
滝 川 忠 夫 (旧 13 回)	
村 上 照 五 郎 (新 2 回)	
下 河 善 嗣 郎 (新 5 回)	
足 井 至 (旧 15 回)	
櫻 井 勇 (中 学 2 回)	
大 森 敬 一 郎 (中 学 4 回)	
竹 野 久 國 松 (新 7 回)	
東 藤 忠 男 (新 12 回)	
佐 藤 眞 也 (新 37 回)	
金 子 眞 也 (新 37 回)	
小 枝 指 泰 宏 (新 9 回)	
高 宮 昭 平 (旧 18 回)	
高 枝 博 (新 9 回)	
金 野 恒 治 (新 10 回)	
菅 野 眞 也 (新 37 回)	
高 橋 浩 二 (新 20 回)	
金子 眞 也 (新 37 回)	
川 村 武 雄 (旧 9 回)	
中 村 一 雄 (旧 15 回)	
中 村 利 實 (新 10 回)	
佐 々 木 利 弘 (新 12 回)	
大 宮 康 弘 (新 8 回)	
後 藤 振 貴 (旧 13 回)	
彭 橋 龍 次 (新 23 回)	
高 橋 貴 平 (新 6 回)	
藤 田 雄 平 (新 11 回)	
山 口 眞 吉 (旧 11 回)	
石 井 隆 吉 (旧 10 回)	
村 井 紀 之 (新 18 回)	
西 在 家 寛 (旧 18 回)	
中 村 一 雄 (旧 15 回)	
佐 藤 忠 男 (新 12 回)	
柴 田 義 春 (新 11 回)	
三 浦 学 功 (新 10 回)	
高 田 裕 功 (新 5 回)	
久 慈 俊 幸 (新 19 回)	
井 上 紀 彰 (新 13 回)	
小 原 泰 宏 (新 9 回)	
小 林 紀 昌 (新 14 回)	
矢 澤 俊 務 (新 11 回)	
久 慈 幸 之 (新 17 回)	
小 笠 原 常 元 (新 4 回)	
高山 一	

・団体	賛助会費フエロー賞
第5期会	
日大石桜会	
石桜35会	
新11回生同期会	
新18回生同期会	

田君が先に梓を取っちゃったんで」というユーモラスな裏話に、会場からは大きな笑いと拍手が起こり、一気に和やかな雰囲気になりました。


続いて副会長を代表して、本多君から「同窓会を活発にしていきたい」という力強い言葉が述べられた。

新会長の飾らない人柄と、同窓生との固い絆を感じさせるスピーチや、副会長の決意表明は新体制への期待感を高める最高の船出となった。


その後、来賓の祝辞、そして乾杯の発声と共に、待ちに待った歓談の時間へと移った。会場では、現役世代から大先輩まで、幅広い世代の同窓生たちがグラスを傾け、在学中の思い出や近況について語り合い、親睦を深めた。テーブルを囲んで活発な意見交換が行われる様子や、若手同窓生が熱心に先輩たちからアドバイスを受ける姿など、石桜同窓会が長年培ってきた「絆」の強さが随所に感じられた。特に、新体制の会長・副会長のテーブルには、多くの同窓生が集まり、彼らの新体制への決意とビジョンに耳を傾けていた。

来年の総会は、「2」のつく回生が運営となる。代表して佐藤忠男君（新12回生）より「最高の総会を目指し、一年間全力を尽くす」との力強いコメントがあった。総会・懇親会の成功に向け、若手から大先輩までの熱意ある協力体制を期待したい。


懇親会も終盤に差し掛かると、クライマックスとなる校歌斉唱が行われた。リードを務めたのは、新19




歓談の様子



校歌斉唱



最多出席回生の田中氏（新20）



2のつく回生代表 佐藤忠男氏（左）

支部だより

■在京同窓生が今年も上野に集結 東京石桜同窓会のつどい開催

「令和7年度 第43回東京石桜同窓会のつどい」が10月4日、東京都台東区の上野精養軒で開かれました。来賓、母校が創立100周年を迎えることもあって、今年も大勢の同窓生が会場に足を運んでくれ、大いに盛り上がりを見せました。今回も例年同様に第1部が講演会、第2部が総会・懇親会という構成です。第1部の講演会に入る前には元学長長の池口杜孝先生が寄せた手紙が上野英夫副会長（新20）によって読み上げられました。池口先生は当初、会合への参加を予定していましたが、都合により参加できなくなり、その代わりとして近況を伝える手紙を寄せたものです。

第1部の講演会では昨年春から第11代学長として学校運営の指揮を執る新田亮一校長が、「100への感謝」100からの挑戦」と題し、資料映像も交えて最新の進捗状況やクラブ活動実績などを紹介。それを踏まえて創立100周年以降の学校の目指すべき方向などにも言及しました。続いてこの1年の間に逝去が判明した物故者への黙祷を捧げたのち、上野副会長が議長を務める総会に移り、予算案などはじめとした各事項が全会一致で承認され、総会も滞りなく終了しました。続く懇親会では冒頭、前関明会長（新23）が本同窓会の名誉会長で、岩手奨学会の理事長でもある三田義之氏の挨拶文を代読。併せて会長挨拶では同窓会の活性化に向けて会員が一体となる必要性などを強調し、引き続いての協力を求めました。

来賓挨拶では最初に本部同窓会のバトンを今年から引き継いだ久慈竜也・石桜同窓会会長（新30）が登壇し、同窓会の勢いを一段と加速させるべく懸命に取り組む旨を表明しました。もう一人の来賓である田中館光先生（新47）は自身が顧問を務めるラグビー部など運動部の最近の詳しい状況や学校内の様子を紹介し、少子化の影響を受けるなかでも工夫によって部活にも活力が引き出されているとの見方を示しました。

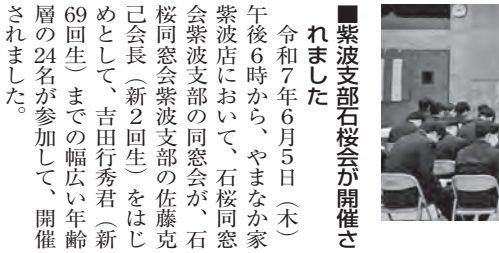


「ア」など3曲を張りのある声で熱唱し、会場から大喝采を浴びました。また、瀬川徹夫さんは昨年11月に死去した後藤康文医師（新8）の協力を得て取り組んだドキュメンタリー映画作品づくりへの思い出を改めて披露し、併せて創作活動へのなお衰えない意欲も示し、同世代からは感嘆の声も漏れました。

また、同窓会担当の中山泰志先生（新39）と現役の慶大生である東條拓真さん（新75）がトークショー形式で語り合う企画も設けられ、会場から東條さんへの辛辣な質問も飛び出すなど和やかなうちに同企画も終了。最終盤では田中館先生も含めた元ラグビー部員4人が登場し、手拍子を打ちながら恒例のラグビー応援歌を軽やかに歌い上げました。続いて石桜精神を説いた校歌を声高らかに斉唱し、前会長の菅野幸福間（新13）の首頭で万歳三唱をし、そのまぎ野顧問が閉会の辞を述べ、年に一度の同窓会は盛況裡に幕を閉じました。

参加者の約半数は引き続き2次会会場に移動し、秋の清々しさのなかで世代を超えての語り合いが、陽が落ちてくると続きましした。首都圏在住の同窓生の元気さは健在です。

■令和5年度 石桜同窓会入会式を挙行
石桜同窓会入会式を令和7年2月28日に母校体育館で挙行了。同窓会より村井会長以下三役出席、学校は新田校長先生と新入会者103名と関係教師数名出席。入会式は中山同窓会事務局長の開会のことばに続き、新田学長挨拶、新田校長より出席者の紹介があり、村井同窓会長より入会歓迎の挨拶があり、赤澤常任理事より同窓会の概要説明をし、入会者全員に記念品（同窓会会員名簿、記念ボールペン）を村井会長より贈呈をしました。続いて新77回生学年理事紹介、新入会者代表より入会の挨拶があり、中山事務局長の閉会のことばで終了しました。



入会式会場

新入会者代表より入会のあいさつ

横澤大造先輩（新13回生）から日本酒 竹原純悦先輩からワインの寄贈があり、瞬く間に打ち解けた交流の場となり、発起人の富岡靖博君（新37回生）、世話人の金子真也君（新37回生）の見事な会場捌きにより、気心の知れた年代の歓談が始まり、また、思いがけない程の身近に住んでいた先輩・後輩の存在に気付き、あたかも、同時期に同じ校舎であったような会話が飛び交いました。



校歌斉唱

打ち解けた交流の後、山崎福造君（新27回生）の歴史書籍の出版や、松村光君（新66回生）の東北開基名人戦3連覇を応援するべく、長谷川良久（新20回生）の発言により、青山潤也君（新25回生）の手合わせを借りて校歌斉唱をし、次年度には、互いに仲間を誘い合い、参加人数を40名にしようと呼び、散会した。



その後、小山田晃幹事の計らいでディエスオーチヨにて2次会が行われ、深夜まで歓談し、石桜同窓ならではの絆を深めるひと時を過ごした。（文責 亀田幸宏）

■石桜同窓会90周年記念事業 母校にマイクロバス2台目贈呈

石桜同窓会設立90周年記念事業として母校にマイクロバス2台寄贈を計画したが予算の関係で1台しか贈呈できなかったが、今年になり新たに2台目贈呈の機運が高まり数名の同窓生の尽力によりもう一台贈呈のめどがたち、令和7年9月29日母校体育館で全校生徒参集のもと贈呈式を挙行了しました。車両は三菱ローザ25人乗りで当日9時ごろ母校に納車されました。

式ではレプリカキーを村井前会長より生徒会長に手渡しし、生徒会長より謝辞を新田学長より感謝の挨拶がありました。また、同窓生の佐藤忠男さんより在校生へ贈る言葉の披露があり生徒は熱心に拝聴していました。



2台目マイクロバス

■紫波支部石桜会が開催されました

令和7年6月5日（木）午後6時から、さまざまな紫波店において、石桜同窓会紫波支部の同窓会が、石桜同窓会紫波支部の佐藤克己会長（新2回生）をはじめ、吉田行秀君（新69回生）までの幅広い年齢層の24名が参加して、開催されました。

講演会終了後に恒例の記念集合写真撮影を行い、その後、熊谷哲也幹事の司会のもと懇親会に入り、赤坂俊彦新会長挨拶、新田亮一岩手中学・高等学校校長の来賓挨拶をいただいたのち、米内正会員の瑞宝双光章受賞のお祝いと本人よりの挨拶があった。

その後山田康平顧問の乾杯で祝賀会に入った。恒例の会員の挨拶、近況報告が楽しく行われ、田中崇一幹事の音頭で岩手高校の校歌とラグビー応援歌を全員で声高らかに斉唱した。最後に青木修治監事の中締めの挨拶で祝賀会を閉めた。



講演会終了後に恒例の記念集合写真撮影を行い、その後、熊谷哲也幹事の司会のもと懇親会に入り、赤坂俊彦新会長挨拶、新田亮一岩手中学・高等学校校長の来賓挨拶をいただいたのち、米内正会員の瑞宝双光章受賞のお祝いと本人よりの挨拶があった。

講演会終了後に恒例の記念集合写真撮影を行い、その後、熊谷哲也幹事の司会のもと懇親会に入り、赤坂俊彦新会長挨拶、新田亮一岩手中学・高等学校校長の来賓挨拶をいただいたのち、米内正会員の瑞宝双光章受賞のお祝いと本人よりの挨拶があった。



金山太鼓を堪能

■同期会

新18回生の同期会を令和6年11月18日17時30分より大通りサンシャインビル6FのゼジルParty&dining GIZELLEで開催しました。

今回の祭事は伝統芸能の「佐比内金山の太鼓演奏」企画し、演者で同期生の竹原純悦氏を紹介し、続けて太鼓演奏を堪能しました。記念写真撮影し竹原純悦氏の乾杯の音頭で懇親会にはいり、夫々の近況報告交換会に入り学生時代の部活の思い出話やら最近では病気、薬の話などで大いに盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしました。中締めは照井武彦君の音頭で締め、全員で校歌を斉唱し楽しかった同期会を熊谷憲治

会司の司会は熊谷憲治君が担当し、最初に同期生、恩師の物故者に黙祷を捧げました。今回の祭事は伝統芸能の「佐比内金山の太鼓演奏」企画し、演者で同期生の竹原純悦氏を紹介し、続けて太鼓演奏を堪能しました。記念写真撮影し竹原純悦氏の乾杯の音頭で懇親会にはいり、夫々の近況報告交換会に入り学生時代の部活の思い出話やら最近では病気、薬の話などで大いに盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしました。中締めは照井武彦君の音頭で締め、全員で校歌を斉唱し楽しかった同期会を熊谷憲治

会司の司会は熊谷憲治君が担当し、最初に同期生、恩師の物故者に黙祷を捧げました。今回の祭事は伝統芸能の「佐比内金山の太鼓演奏」企画し、演者で同期生の竹原純悦氏を紹介し、続けて太鼓演奏を堪能しました。記念写真撮影し竹原純悦氏の乾杯の音頭で懇親会にはいり、夫々の近況報告交換会に入り学生時代の部活の思い出話やら最近では病気、薬の話などで大いに盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしました。中締めは照井武彦君の音頭で締め、全員で校歌を斉唱し楽しかった同期会を熊谷憲治

会司の司会は熊谷憲治君が担当し、最初に同期生、恩師の物故者に黙祷を捧げました。今回の祭事は伝統芸能の「佐比内金山の太鼓演奏」企画し、演者で同期生の竹原純悦氏を紹介し、続けて太鼓演奏を堪能しました。記念写真撮影し竹原純悦氏の乾杯の音頭で懇親会にはいり、夫々の近況報告交換会に入り学生時代の部活の思い出話やら最近では病気、薬の話などで大いに盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしました。中締めは照井武彦君の音頭で締め、全員で校歌を斉唱し楽しかった同期会を熊谷憲治

会司の司会は熊谷憲治君が担当し、最初に同期生、恩師の物故者に黙祷を捧げました。今回の祭事は伝統芸能の「佐比内金山の太鼓演奏」企画し、演者で同期生の竹原純悦氏を紹介し、続けて太鼓演奏を堪能しました。記念写真撮影し竹原純悦氏の乾杯の音頭で懇親会にはいり、夫々の近況報告交換会に入り学生時代の部活の思い出話やら最近では病気、薬の話などで大いに盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしました。中締めは照井武彦君の音頭で締め、全員で校歌を斉唱し楽しかった同期会を熊谷憲治

会司の司会は熊谷憲治君が担当し、最初に同期生、恩師の物故者に黙祷を捧げました。今回の祭事は伝統芸能の「佐比内金山の太鼓演奏」企画し、演者で同期生の竹原純悦氏を紹介し、続けて太鼓演奏を堪能しました。記念写真撮影し竹原純悦氏の乾杯の音頭で懇親会にはいり、夫々の近況報告交換会に入り学生時代の部活の思い出話やら最近では病気、薬の話などで大いに盛り上がり、とても楽しい時間を過ごしました。中締めは照井武彦君の音頭で締め、全員で校歌を斉唱し楽しかった同期会を熊谷憲治

くんの閉会の辞で終了しました。■新20回生同期会を開催
新20回生同期会を令和7年10月11日に盛岡・ホテルエース盛岡で開催しました。今年度は満76歳を迎え、数え年「喜寿」を迎える記念すべき年齢となり、また、恩師池口杜孝先生は卒寿を経て、お元気で長寿を更にし続けており、人生の大先輩でおかれましては、お元気で常に向きに生活をして、恩師池口杜孝先生・長寿のお祝い・岩手高校新20回生・喜寿のお祝い」と銘打って盛大に開催しました。

最初に石桜同窓会参加の赤澤 征夫氏に写真撮影とビデオ撮影を依頼して、記念集合写真撮影を行い同期会にはいり、小山田榮一君に司会を担当して頂き、開会の辞、小山田榮一君、そして足澤、吉田、鈴木、山岸の物故者と同期生41名、合計45名の物故者に黙祷を捧げました。つづいて田中健一 新20回生同期会会長の挨拶、恩師池口先生から祝辞を頂戴しました。



岩手高等学校 22回生 同窓会

続いて23回生学年理事でもある村上修による乾杯の音頭で懇親会が始まりました。近況報告では報告者が次の人を指名することで、全員が登壇し個性ある楽しい近況報告となりました。今回参加メンバーで県外組は静岡より鈴木善和、千葉より道下照二、前関邦明以上3名で東京から三田地成幸が参加予定でしたが、前日体調不良で残念ながら急な欠席となった。県内では野田村の沢里清公、刈谷の佐々木哲也、岩手町の佐藤幸栄、八幡平市工藤隆一など参加しました。宴もたけなわのうちに、中締めとなり、佐藤光栄、前関邦明の音頭で校歌斉唱し、沢里清公の万歳三唱、最後の中締めは学年理事の伊藤賢二が締めて散会となりました。尚、23回生の同期会の記録は、石桜同窓会のホームページ（4月14日付け）にアップされており、動画、座席表、スナップ写真など詳細についていつでも検索して視聴できます。またユーチューブでは「石桜かい動画」を開き、さらに「23回生同期会」で検索していただければいつでも動画を視聴できます。時々懐かしい思い出として参照していただければ幸いです。以上報告まで。

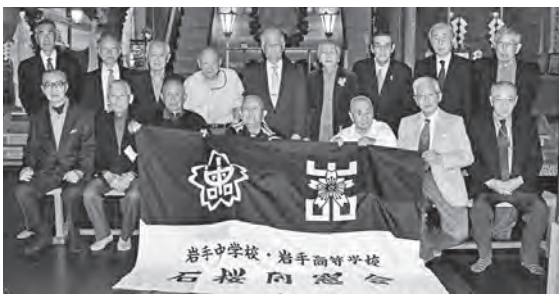
（文・前関）

に移動して同期会懇親会を開催しました。九桜会会長挨拶に続き、恩師元岩高校長の池口杜孝先生と足澤禮子先生より祝辞を頂戴しました。続けて横浜在住のビクター専属歌手の高橋明君（芸名高橋鴻明）詩吟「長寿を祝う」で花を添えて頂き、高橋明君の乾杯の音頭で祝宴に入りました。執行役員から年輪的にもここらへんで同期会を解散したらとの意向を発言したところ、会場からはせめて90歳の「卒寿」いや99歳の「白寿」まで皆んな元気で又盛大に同期会を開催せよと酒の勢いをかりて発言が多かった。結論としてはその時点で再考するで収まりましたが、この勢いでいくと、ひよつとしたら実現可能かとおもわれる雰囲気であつた。近況報告では相変わらず部活の思い出話、病院通い等、健康に関する話が多かったように感じた懇親会でした。今回の同期会には車椅子での参加が2名おり、参加者全員で激励の言葉をかけ、何時になつても同期生の「絆」の強さに感激した同期会であつた。伊五澤君の音頭で校歌斉唱し、宇土澤君の音頭で三本締めでとても、とても楽しかった同期会をおわり、卒寿、白寿まで元気で再会を約束し散会しました。

■九桜会米寿を祝う同期会を厳粛に開催しました

九桜会（岩手高校昭和32年卒新9回生）米寿を祝う会を令和7年10月15日午後4時より南部藩の守り本尊「桜山神社」で開催しました。神殿で坂本宮司が御神前に祝詞を奉上、祝詞捧上の後、真心を込めて九桜会代表が玉串捧げ、神様のご加護と心願の成就を祈りました。

神事終了後直ちにその場で記念写真の撮影を行い、同神社参集殿



横田英司（新11回生）が私誌「寄せ木（追補編）」を発刊された

香川自分誌同好会の会誌「さざなみ」の創刊は昭和62年で、地域同人誌として特異な存在感をもっていたが、平成29年8月の24号をもって休刊となつている。横田氏は平成14年2月発行の9号から最終号まで、毎年1回の投稿を続けていた。何かしら記念樹的しるしを残したいとの衝動があり、今回の「寄せ木」追補編刊行に至ったとのこと。「寄せ木」には母校岩手中・高等学校の大先輩の太宰治と親交があり無名の詩人でアツ島で玉砕して26歳の若さでこの世を去った三田循司（旧5回生）と太宰治との関係や昭和42年処女詩集「動物哀歌」で第8回「晩翠賞」受賞、詩壇の芥川賞とも称せられる第18回「日氏賞」を受賞した村上昭夫（旧15回生）のことなど詳しく記載されている。



「石桜・二人の詩人」

横田 英司（新11回生）石桜の先人には優れた二人の詩人がいる。ひとりとは、若くして病没した村上昭夫で、いまひとりとは、先の大戦で戦死した三田循司である。母校百周年の佳節に当たって二人の足跡に少しばかり触れてみたい。

村上昭夫（旧15回生）

「こおろぎ忌」。村上昭夫の忌辰（十月十一日）で、これを知るひとは少ない。それもその筈、平成二十四年（二〇一二）、彼の生誕八十五周年に当たって関係者が初めて名付た所以である。作品の中によく「コオロギ」が登場するからと聞く。この年の生誕記念事業の中、同年十月十三日には盛岡市の「プラザおでつてホール」に於いて村上昭夫の詩の朗読会とパネルディスカッション「村上昭夫を語る」が催された。昭夫の実弟の村上成夫氏が、溝淵和雄氏のギター伴奏により六編の詩を朗読。引き続き作家の高橋克彦氏のコーディネートにより四人の詩人パネリストが活発なディスカッションを行った。

村上昭夫は昭和二年、岩手県東磐井郡大原町（現一関市）に生まれ、昭和二十一年岩手中学を卒業後渡満。同年の敗戦による過酷な抑留体験を嘗める。二十一年の帰国後は郵政事務官となるも結核を発症。以後長らく闘病生活の傍ら詩作を続け、岩手日報詩壇への投稿をきっかけに村野四郎との交流師事が始まり、昭和四十二年処女詩集「動物哀歌」を上梓。同年十月に第八回「晩翠賞」を受賞。この時の

選評では「ここに収録された二百篇にちかい作品に見られる人間的悲哀の造型は圧倒的であつた。これほど深く透明度のたかい詩的破壊力は、今年詩壇の収穫であるかもしれない」と。翌四十三年三月には、詩壇の芥川賞とも称せられる第十八回「日氏賞」を受賞したが、同年十月十一日逝去した（享年四十一歳）。

夭折の詩人の詩集は「動物哀歌」だけだが、彼が師事した村野四郎は「啄木よりも賢治より、もっと心霊的で、しかも造形的な文学を村上昭夫に見る」と評している。結核という当時の難病と闘いつつも、純粋な感性を研ぎ澄ませて、詩作に取り組んだその結実であろう。

また盛岡市立図書館の前庭には、昭夫の二百近い「動物哀歌」の詩篇から撰ばれた「私をうらぎるな」の詩碑がある。

私をうらぎるな

夜を見はつていつながれた犬たち
私に向つて吠えるな

私が誰なのかわかったなら
吠えることはできないだろうに

おびえる風のなかの雀たち
私の行先から舞い立つな
私が何を聞きたいのかを知ったなら
舞い立つ必要はあるまいに

地からはい出た痛ましい虫たち
暗い穴のなかに隠れてゆくな
私が何を捜しているのを知ったなら
隠れる必要はあるまいに

冷めたい水のなかの魚たち
私の足音が近づくと
わびしく散り去つてはゆくな
私が何処へ行くのかを知ったなら
散りさることはできないだろうに

私はそれを聞きにゆくのだ
私はそれを捜しているのだ
私は其処へ行こうとするのだから
どうか私をうらぎるな

詩人の足跡を追うにつれ、彼の祥月命日はがらずとも筆者の誕生日でもあることから、猶のこと哀惜の念を深くする。同窓先人の心情に思いを致し、七言絶句の起承転結各句に「村・上・昭・夫」の御名一字を折り込んだ蕪詩一首を献じて氏を偲びたい。

動物哀歌

駐杖村蹊忘病軀
騷人心上湧清娛
昭乎遐想沸沸起
動物哀歌醒衆夫

平声虞韻

村蹊に杖を駐めれば、病軀を忘れ騷人の心上に、清娛湧く
昭乎たる遐かな想い 沸々と起き動物哀歌 衆夫を醒ますさん

平成癸巳 季冬 横田英司賦

三田循司（旧5回生）

へ刃も凍る北海の 御楯と立ちて 二千余士

外科医のS・T先生十八番「アツツ島血戦勇士顕彰国民歌」の歌い出だしであった。国民学校三、四年生の頃よく歌つたものだ、先生から聞いたことがある。

昭和十八年五月、米国領アリユシヤン列島アツツ、キスカ両島に侵出していた日本軍は圧倒的兵力と物量を誇る米軍の反攻を受け、アツツ島守備隊は同月二十九日、指揮官の山崎保代大佐以下二千六百余の戦死をもって玉砕。このアツツ島戦死者の一人に三田循司がいる。三田は大正六年岩手県稗貫郡花巻町（現花巻市）に生まれ、旧制岩手中学から旧制第二高等学校、さらに東京帝国大学文学部へ進学した。大戦突入の昭和十六年十二月、繰上げ卒業。翌年の二月応召、盛岡の歩兵第五連隊に入隊する。

二高時代には戸石泰一等と「芥」を発行し、また同校尚志会雑誌「尚志」に投稿するなど詩文の才を磨いている。大学期には戸石と共に先輩の太宰治をしばしば訪ね、また太宰の紹介により山岸外史の知遇を得て、文学的交流をはかった。平成二十一年は太宰治の生誕百年に当り、各地で記念行事が行われた。北上市にある「日本現代詩歌文学館」でも「太宰治生誕100年三田循司資料特別公開記念展」が開かれた。この展示会に先立つ六月中旬、同窓生である三田に関する別件の取材をしていた赤澤征夫氏（新9回）が、偶然にも三田の親族を捜し当て、これによって未公開の資料が多数発掘される。その資料の中には太宰から三田へ宛てた葉書五通と彼の実弟愼への一通もある。太宰は三田の戦死を惜しみ、著作に「三田循司」の実名で登場させている。

御元氣ですか。
遠い空から御伺いします。
無事、任地に着きました。
大いなる文学のために、
死んで下さい。
自分も死にます。
この戦争のために。
（三田から太宰宛の書簡）

「散華」にはこのフレーズが三度も出てくる。さらに太宰は、「私に『死んで下さい』とためらわず自然に言ってくれたのは、三田君ひとりである。なかなか言えない言葉である。こんなに自然な調子で、それをいへるとは、三田君もついに一流の詩人の資格を得たと思った。」（太宰治著「散華」旺文社刊より）

戦後、評論家山岸外史、作家太宰治、第三田愼らによつて三田循司遺稿集「北極星」の発刊が企画されたが、今日まで実現されずに到っている。だが、三田循司没後十七回忌の昭和三十四年、花巻の広隆寺に山岸外史揮毫の石碑が建てられた。碑銘には三田の詩「北極星」が刻まれている。

出陣の夜である
雪まじりの風は
くろい三本煙突に
うなつてゐる
星は消えた

太宰治生誕百年記念の時に、期を同じうして現れた三田の遺品・メッセージの数々。前出の赤澤氏もその奇縁におどろく。

青春の一時期、一瞬の光芒を放ちながら消え入った無名の詩人「三田循司」。もしも彼が命数を長らえたならばの仮構は、大方の思いであっても、もはや叶わぬ夢である。

懐石料理とわんこそばの店

初 駒
はつこま

盛岡市八幡町10-21 電話 019-651-7184
(盛岡八幡宮前)

山口北州印刷株式会社

【本社・工場】
〒020-0184 岩手県盛岡市青山4丁目10番5号
TEL 019-641-0585(代表) FAX 019-648-1020
【東京支店】
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-11-3F
TEL 03-5206-3500 FAX 03-5206-3503

食事処

ひだまり亭

盛岡市加賀野1-8-21
TEL 019(652)1731

有限会社 村井ビル

代表取締役 村井 紀之 (新18回生)

〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通9-4
TEL(019)624-0515

スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影

フォト MORIOKA

池ノ谷 忠 正
材木町信用金庫向 TEL(622)7457

令和 6 年度石桜同窓会決算報告書
(2024 年 6 月 1 日～ 2025 年 5 月 31 日)

I 一般会計

【収入の部】					単位：円
予 算 科 目	決 算 額	令和 6 年度予算額	差引（増△減）	備 考	
前年度繰越金	1,581,245	1,581,245	0		
前年度繰越金	1,581,245	1,581,245	0		
会費	3,103,382	2,836,000	267,382		
入会金	515,000	515,000	0	卒業時に納入：5,000 円× 103 名	
終身会費	721,000	721,000	0	卒業時に納入：7,000 円× 103 名	
賛助会費	1,200,382	1,000,000	200,382	229 名 1 団体	
総会会費	435,000	350,000	85,000	5,000 円× 87 枚	
諸会議会費	232,000	250,000	△ 18,000	常任理事会、理事会 等	
広告料	435,000	525,000	△ 90,000		
ホームページ広告料	380,000	500,000	△ 120,000		
同窓会報広告料	55,000	25,000	30,000	令和 5 年度分含む	
寄付金	0	10,000	△ 10,000		
寄付金	0	10,000	△ 10,000		
雑収入	75,364	7,755	67,609		
雑収入	75,364	7,755	67,609	総会お祝い 預金利息	
合計	5,194,991	4,960,000	234,991		

【支出の部】					
予 算 科 目	決 算 額	令和 6 年度予算額	差引（増△減）	備 考	
会議費	1,689,968	1,130,000	559,968		
総会費	1,049,693	600,000	449,693	会場費 総会資料作成費	
諸会議費	640,275	530,000	110,275	常任理事会、理事会 等	
事業費	2,083,305	2,200,000	△ 116,695		
同窓会報発行費	637,780	700,000	△ 62,220	会報印刷代 等	
同窓会名簿作成費	100,000	100,000	0	積立金として特別会計へ操出	
ホームページ運営費	640,000	500,000	140,000	ビデオカメラ代	
生徒会補助金	250,000	250,000	0	学校生徒会への補助	
クラブ活動強化育成費	400,000	400,000	0	クラブ強化育成基金へ操出	
周年事業積立金	0	200,000	△ 200,000	特別会計へ操出	
その他事業費	55,525	50,000	5,525	入会式資料 ゴルフ大会 写真代 等	
事務費	700,909	825,000	△ 124,091		
通信運搬費	669,859	800,000	△ 130,141	郵便料、送料 等	
消耗品費	0	3,000	△ 3,000		
印刷製本費	26,430	10,000	16,430	振込用紙印刷 コピー	
役務費	4,620	10,000	△ 5,380	振込手数料	
その他事務費	0	2,000	△ 2,000	上記以外の事務経費	
管理経費	279,808	200,000	79,808		
事務手当	50,000	50,000	0	事務局職員手当	
役員活動費	229,808	150,000	79,808	旅費 日当	
雑費	365,500	410,000	△ 44,500		
慶弔費	50,000	140,000	△ 90,000	お祝い	
雑費	315,500	270,000	45,500	各種広告	
予備費	0	195,000	△ 195,000		
予備費	0	195,000	△ 195,000		
合計	5,119,490	4,960,000	159,490		75,501 円

収支

令和 7 年度石桜同窓会予算（案）
(2025 年 6 月 1 日～ 2026 年 5 月 31 日)

I 一般会計

【収入の部】					単位：円
予 算 科 目	本年度予算額	前年度決算額	差引（増△減）	備 考	
前年度繰越金	75,501	1,581,245	△ 1,505,744		
前年度繰越金	75,501	1,581,245	△ 1,505,744		
会費	3,764,000	3,103,382	660,618		
入会金	485,000	515,000	△ 30,000	卒業時に納入：5,000 円× 97 名	
終身会費	679,000	721,000	△ 42,000	卒業時に納入：7,000 円× 97 名	
賛助会費	2,000,000	1,200,382	799,618		
総会会費	450,000	435,000	15,000	5,000 円× 90 枚	
諸会議会費	150,000	232,000	△ 82,000	理事会費、常任理事会費 等	
広告料	495,000	435,000	60,000		
ホームページ広告料	470,000	380,000	90,000		
同窓会報広告料	25,000	55,000	△ 30,000		
寄付金	10,000	0	10,000		
寄付金	10,000	0	10,000		
雑収入	30,499	75,364	△ 44,865		
雑収入	30,499	75,364	△ 44,865	お祝い、預金利息	
合計	4,375,000	5,194,991	△ 819,991		

【支出の部】					
予 算 科 目	本年度予算額	前年度決算額	差引（増△減）	備 考	
会議費	1,230,000	1,689,968	△ 459,968		
総会費	900,000	1,049,693	△ 149,693	会場費、総会資料作成費	
諸会議費	330,000	640,275	△ 310,275	理事会、常任理事会、総会プロジェクト	
事業費	2,150,000	2,083,305	66,695		
同窓会報発行費	650,000	637,780	12,220	会報印刷代 等	
同窓会名簿作成費	100,000	100,000	0	積立金として特別会計へ操出	
ホームページ運営費	500,000	640,000	△ 140,000		
生徒会補助金	250,000	250,000	0	学校生徒会への補助	
クラブ活動強化育成費	400,000	400,000	0	クラブ強化育成基金へ操出	
周年事業積立金	200,000	0	200,000	特別会計へ操出	
その他事業費	50,000	55,525	△ 5,525	入会式資料印刷代 等	
事務費	534,000	700,909	△ 166,909		
通信運搬費	500,000	669,859	△ 169,859	郵便料、送料 等	
消耗品費	3,000	0	3,000	文具、用紙 等	
印刷製本費	24,000	26,430	△ 2,430	振込用紙印刷、コピー代 等	
役務費	5,000	4,620	380	振込手数料	
その他事務費	2,000	0	2,000	上記以外の事務経費	
管理経費	150,000	279,808	△ 129,808		
事務手当	50,000	50,000	0	事務局職員手当	
役員活動費	100,000	229,808	△ 129,808	活動旅費、ガソリン代、宿泊、日当(校歌・東京石桜)	
雑費	230,000	365,500	△ 135,500		
慶弔費	30,000	50,000	△ 20,000	各支部お祝い、弔電、香典 等	
雑費	200,000	315,500	△ 115,500	各種広告 等	
予備費	81,000	0	81,000		
予備費	81,000	0	81,000		
合計	4,375,000	5,119,490	△ 744,490		

II 特別会計

【収入の部】					単位：円
予 算 科 目	決 算 額	令和 6 年度予算額	差引（増△減）	備 考	
前年度繰越金	267,220	267,220	0		
前年度繰越金	267,220	267,220	0		
繰入金	3,640,185	3,570,013	△ 200,000		
一般会計より繰入金	100,000	300,000	△ 200,000	名簿作成費積立金(累計10万円)、周年事業費(累計-)	
90 周年特別会計より繰入金	3,540,185	3,570,013	△ 29,828		
広告料	0	0	0		
同窓会名簿広告料	0	0	0		
諸収入	3,277,622	102,767	3,174,855		
同窓会名簿等売上収入	276,398	100,000	176,398	同窓会名簿(1冊)、90 周年記念誌(56 冊)売上収入	
雑収入	3,001,224	2,767	2,998,457	寄付金 300 万円、預金利息 等	
合計	7,185,027	3,940,000	3,245,027		

【支出の部】					
予 算 科 目	決 算 額	令和 6 年度予算額	差引（増△減）	備 考	
名簿作成費	52,580	60,000	△ 7,420		
印刷製本費	52,580	60,000	△ 7,420	新卒業生名簿印刷代	
事業費	0	0	0		
周年事業費	0	0	0		
事務費	0	32,000	△ 32,000		
通信運搬費	0	30,000	△ 30,000		
その他事務費	0	2,000	△ 2,000		
一時借入返還金	0	0	0		
一時借入返還金	0	0	0		
予備費	0	3,848,000	△ 3,848,000		
予備費	0	3,848,000	△ 3,848,000		
合計	52,580	3,940,000	△ 3,887,420		7,132,447 円

収支

III クラブ強化育成基金

【収入の部】					単位：円
予 算 科 目	決 算 額	令和 6 年度予算額	差引（増△減）	備 考	
前年度繰越金	2,571,054	2,571,054	0		
前年度繰越金	2,571,054	2,571,054	0		
繰入金	400,000	400,000	0		
一般会計より繰入金	400,000	400,000	0	クラブ強化育成費	
雑収入	864	8,946	△ 8,082		
雑収入	864	8,946	△ 8,082	預金利息 等	
一時貸付償還金	0	0	0		
一時貸付償還金	0	0	0		
合計	2,971,918	2,980,000	△ 8,082		

【支出の部】					
予 算 科 目	決 算 額	令和 6 年度予算額	差引（増△減）	備 考	
事業費	498,584	800,000	△ 301,416		
教育後援会補助金	200,000	200,000	0	県外大会遠征補助 等	
部活動褒賞費	298,584	600,000	△ 301,416	褒賞金、図書カード、賞状	
一時貸付金	0	0	0		
一時貸付金	0	0	0		
予備費	0	2,180,000	△ 2,180,000		
予備費	0	2,180,000	△ 2,180,000		
合計	498,584	2,980,000	△ 2,481,416		2,473,334 円

収支

II 特別会計

【収入の部】					単位：円
予 算 科 目	本年度予算額	前年度決算額	差引（増△減）	備 考	
前年度繰越金	7,132,447	267,220	6,865,227		
前年度繰越金	7,132,447	267,220	6,865,227		
繰入金	300,000	3,640,185	△ 3,540,185		
一般会計より繰入金	300,000	100,000	200,000	名簿作成費積立金(累計10万円)、周年事業費(累計20万円)	
90 周年特別会計より繰入金	0	3,540,185	△ 3,540,185		
広告料	0	0	0		
同窓会名簿広告料	0	0	0		
諸収入	2,107,553	3,277,622	△ 1,170,069		
同窓会名簿等売上収入	100,000	276,398	△ 176,398	同窓会名簿売上収入、90 周年記念誌売上収入	
雑収入	2,007,553	3,001,224	△ 993,671	寄付金 預金利息 等	
合計	9,540,000	7,185,027	2,354,973		

【支出の部】					
予 算 科 目	本年度予算額	前年度決算額	差引（増△減）	備 考	
名簿作成費	60,000	52,580	7,420		
印刷製本費	60,000	52,580	7,420	名簿作成費、新卒業生名簿印刷代	
事業費	7,770,000	0	7,760,000		
周年事業費	10,000	0	10,000		
車両購入費	7,760,000	0	7,760,000	マイクロバス 1 台 (90 周年記念事業関連)	
事務費	32,000	0	32,000		
通信運搬費	30,000	0	30,000	名簿等郵送費、名簿確認はがき	
その他事務費	2,000	0	2,000	郵便振込手数料、封筒、消耗品 等	
一時借入返還金	0	0	0		
一時借入返還金	0	0	0		
予備費	1,678,000	0	1,678,000		
予備費	1,678,000	0	1,678,000		
合計	9,540,000	52,580	9,487,420		

III クラブ強化育成基金

【収入の部】					単位：円
予 算 科 目	本年度予算額	前年度決算額	差引（増△減）	備 考	
前年度繰越金	2,473,334	2,571,054	△ 97,720		
前年度繰越金	2,473,334	2,571,054	△ 97,720		
繰入金	400,000	400,000	0		
一般会計より繰入金	400,000	400,000	0	クラブ強化育成費	
雑収入	1,666	864	802		
雑収入	1,666	864	802	預金利息 等	
一時貸付償還金	0	0	0		
一時貸付償還金	0	0	0		
合計	2,875,000	2,971,918	△ 96,918		

【支出の部】					
予 算 科 目	本年度予算額	前年度決算額	差引（増△減）	備 考	
事業費	500,000	498,584	1,416		
教育後援会補助金	200,000	200,000	0	県外大会遠征補助 等	
部活動褒賞費	300,000	298,584	1,416	褒賞金、図書カード、賞状	
一時貸付金	0	0	0		
一時貸付金	0	0	0		
予備費	2,375,000	0	2,375,000		
予備費	2,375,000	0	2,375,000		
合計	2,875,000	498,584	2,376,416		

令和7年度 クラブ活動成績

〈文化部〉

将 棋

〈高校の部〉

●第47回岩手県高等学校将棋大会

男子個人戦 優勝 吉田 寛太 全国大会出場
3位 根谷 慧 4位 棚田 智貴

男子団体戦 岩手高（中塚 祐樹、梅内 悠登、鎌田 陸生）優勝 全国大会出場

〈中学の部〉

●第50回全国中学生将棋名人戦北東北予選

準優勝 猪股莉伶宙 全国大会出場

●第46回全国中学生選抜将棋選手権岩手県予選

優 勝 猪股莉伶宙 全国大会出場 準優勝 平柳 航

●第21回文部科学大臣杯中学校将棋団体戦岩手県予選

優勝 岩手中（猪股莉伶宙、平柳 航、武田 一馬）

東日本大会出場

●第38回全国高等学校将棋竜王戦岩手県大会

優 勝 鎌田 陸生 全国大会出場

準優勝 梅内 悠登 第3位 根谷 慧 第4位 佐々木勇英

囲 碁

〈高校の部〉

●第49回全国高等学校囲碁選手権岩手県大会

男子団体戦 岩手高（吉田 翔葵、徳田 真人、佐藤 龍輝） 第3位

映画

〈高校の部〉

●第72回NHK杯岩手県高校放送コンテスト

予選敗退

国際交流

●COI-NEXT岩手県立大学DXを活用した清掃活動に協力（国際交流部＋卓球部）

（盛岡市内河川敷とマチナカのゴミ拾い活動）7/30

兼平 幸一（2D） 小原 颯月（1A） 千葉 碧（1C） 百岡 佳範（1C）

●石桜さんざBOYs 2025盛岡さんざ踊り祭りパレード出場（in 盛岡青年会議所）
8/1, 8/3

・国際交流部〔兼平 幸一（2D） 菊池由希登（2 B）
小原 颯月（1A） 百岡 佳範（1C）〕

・有志〔柴田 海涼（3 B） 山口 智也（3 B） 上総 佳樹（2 A）
館林 啓仁（2 B） 佐々木蒼平（2 D） 浅沼 柊（1 A）
佐々木 楽（1 A） 岡澤 翼（1 B） 山本航司郎（1 B）〕

自然科学

●第46回モデルロケット全国大会出場

3 D 工藤 綜真 菅原 綾人 櫻庭 樹来 中村 朔也 1 D 戸来 悠

●第47回モデルロケット全国大会出場

3 D 工藤 綜真 櫻庭 樹来 中村 朔也
1 A 大林 志問 1 D 戸来 悠

写真

●令和7年度 第16回夏季写真コンテスト 入選

「今日も一日ご安全に」 3 C 荒木 皓聖

●第48回岩手県高等学校総合文化祭写真部門 入選

「Nostalgic Maker」 2 D 坂本 士敏

吹奏楽

●全日本吹奏楽コンクール岩手県大会高等学校小編成の部「金賞」

〈体育部〉

剣道

●第77回盛岡市民スポーツ大会剣道競技

男子個人 奥住 真好（3 B） 初戦敗退 佐野峯来空（2 A） 初戦敗退

男子団体 予選リーグ敗退

●第77回岩手県高等学校総合体育大会剣道競技

男子個人 奥住 真好（3 B） 初戦敗退 上総 佳樹（2 A） 初戦敗退
佐野峯来空（2 A） 二回戦敗退 館林 啓仁（2 B） 二回戦敗退
高田 隼（1 C） 二回戦敗退 中澤 龍馬（1 C） 初戦敗退
福田康太郎（1 C） 初戦敗退 近江 武蔵（1 D） 三回戦敗退

男子団体 予選リーグ敗退

サッカー

●第77回岩手県高等学校総合体育大会サッカー競技

2回戦 ●岩手0-4 花北青雲

山岳

●岩手県高総体登山競技第2位（東北大会出場）

●東北高等学校登山大会第6位入賞

●国民スポーツ大会岩手県選手選考会スポーツクライミング競技

岩手高校Cチーム ボルダー 優勝 リード優勝

岩手高校Aチーム ボルダー 第3位

柔道

●令和7年度盛岡市民スポーツ大会 4/26（土）

60キロ以下級

齊田 悠斗（1年） 2回戦敗退 竹島 幸太（1年） 2回戦敗退
觸澤 駿（1年） 2回戦敗退 佐藤 陽人（1年） 2回戦敗退

73キロ以下級

中務 陽太（1年） 2回戦敗退 四役 広京（1年） 2回戦敗退

無差別級

田口総一朗（2年） 1回戦敗退 鳥居 和（3年） 準優勝
岩澤 怜央（3年） ベスト8 晴山 洋輝（3年） 2回戦敗退

立花 滯（3年） 3位 若生 真悟（2年） 2回戦敗退
山口 泰誠（1年） ベスト8 樋野 賢伸（1年） 2回戦敗退

小山田帯心（2年） ベスト8 佐々木 健（2年） 2回戦敗退
伊東 楓式（2年） 2回戦敗退 中里 知来（1年） 2回戦敗退

杉本 零（3年） 2回戦敗退 中村 優太（1年） 2回戦敗退
佐藤 奏音（1年） 2回戦敗退 細川 悠真（2年） 2回戦敗退

●第77回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技（5/30～6/1）

1部男子団体試合

1回戦 ○岩手5－0 高田 2回戦 ○岩手5－0 花北青雲

準々決勝 ●岩手0－3 盛岡中央 ベスト8

1部男子個人試合

60キロ以下級

高橋 彪河（2年） 1回戦敗退 觸澤 駿（1年） 1回戦敗退
齊田 悠斗（1年） 1回戦敗退 佐藤 陽人（1年） 2回戦敗退

竹島 幸太（1年） 1回戦敗退

66キロ以下級

田口総一朗（2年） 1回戦敗退 若生 真悟（2年） 2回戦敗退
鳥居 和（3年） 2回戦敗退

73キロ以下級

杉本 零（3年） 3位（東北大会出場） 小山田帯心（2年） ベスト8

四役 広京（1年） ベスト16 佐々木 健（2年） 1回戦敗退

中務 陽太（1年） 1回戦敗退

81キロ以下級

樋野 賢伸（1年） 1回戦敗退 晴山 洋輝（3年） 1回戦敗退

90キロ以下級

佐藤 奏音（1年） ベスト16 岩澤 怜央（3年） 1回戦敗退

立花 滯（3年） ベスト16 細川 悠真（2年） 2回戦敗退

100キロ以下級

中村 優太（1年） 1回戦敗退 中里 知来（1年） ベスト8

100キロ超級

伊東 楓式（2年） 1回戦敗退 山口 泰誠（1年） 1回戦敗退

水泳

●第77回岩手県高等学校総合体育大会水泳競技

大野 祥真 50m自由形 38位 100m背泳ぎ 失格
駒木 蓮央 50m自由形 14位 100m背泳ぎ 14位

ソフトテニス

●第19回東北高校春季ソフトテニス選手権大会@山形県山形市SPC 2025/4/6

〈団体予選リーグ〉 岩手高校 第3位入賞

●第32回全日本シングルス選手権大会県予選会2025/4/6@和賀川IGP

長根煌和ベスト8 全日本シングルへ

●県高校総体地区予選兼市民スポーツ大会

〈個人〉 県推薦 藤田・古館

地区推薦 長根・関 菊池・田代

優 勝 佐々木 月（3 C）・安東 侑輝（3 C）

第3位 佐々木颯空（2 C）・下大澤真心馬（3 C）

ベスト8 菅原 雄士（1 C）・佐藤 碧俊（1 C）

ベスト16 佐々木信憂（2 C）・細川 蓮（2 A）

高田 結平（1 C）・下河原 舜（2 C）

●第35回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会@和賀川IGP 2025/4/30

〈ダブルス〉 藤田・古館 長根・関 ベスト8

〈シングルス〉 菊池 海音 ベスト8

●第77回岩手県高校総体ソフトテニス競技@和賀川IGP2025/5/30

〈個人〉 第3位 長根 煌和（2 C）・関 涼真（2 B） ペア

佐々木 月（3 C）・安東 侑輝（3 C） ペア

ベスト8 菊池 海音（2 A）・田代 悠稀（2 A） ペア

⇒山口インハイ出場権獲得

ベスト10 佐々木颯空（2 C）・下大澤真心馬（3 C） ペア

⇒東北大会出場権獲得

〈団体〉 第3位

●令和7年度東北総体代表選考大会 ソフトテニス競技 少年の部 @和賀川IGP 2025/7/6

〈ダブルス〉 準優勝 長根 煌和（3 C）・関 涼真（3 B） ペア

第3位 佐々木 月（3 C）・安東 侑輝（3 C） ペア

〈シングルス〉 第3位 佐々木颯空（2 C）

●山口インターハイ 2025/7/24～7/25@山口県宇部市

〈個人〉

2回戦敗退 長根 煌和（3 C）・関 涼真（3 B） ペア

1回戦敗退 佐々木 月（3 C）・安東 侑輝（3 B） ペア

1回戦敗退 菊池 海音（2 A）・田代 悠稀（2 A） ペア

●令和7年度岩手県高校新人ソフトテニス競技2025/9/26～9/29

〈団体〉 優 勝

〈個人〉 優 勝 菊池 海音（2 A）・田代 悠稀（2 A） ペア

準優勝 佐々木颯空（2 C）・細川 蓮（2 A） ペア

●令和7年度東北私立高等学校ソフトテニス大会（男子）盛岡 7/10/20

〈団体〉 第3位

〈個人予選リーグ〉 ベスト10 菊池 海音（2 A）・田代 悠稀（2 A）

ベスト32 佐々木颯空（2 C）・細川 蓮（2 A）

出場

〈決勝トーナメント〉

2回戦敗退 菊池 海音（1 B）・田代 悠稀（1 B） ペア [ベスト10]

全日本私立高校ソフトテニス選手権大会個人出場権獲得

●2025 U17・U20選手選考大会 2025/11/2―関運動公園テニスコート

〈シングルス〉 雨天中止

●第57回岩手県高校選抜インドア選手権大会@奥州市総合体育館12/20～24

〈団体〉 準優勝

〈個人〉 準優勝 藤田佳也（2 C）・古館匡剛（2 C） ペア

ベスト8 長根煌和（2 C）・関 涼真（2 B） ペア

ベスト8 菊池 海音（1 B）・田代 悠稀（1 B） ペア

●第57回東北高校選抜インドア選手権大会 2025/1/24～@秋田県由利本荘市ナイスアリーナ

〈団体〉 予選リーグ敗退

〈個人〉 藤田 佳也（2 C）・古館 匡剛（2 C） ペア 予選リーグ敗退

●全日本私立高校ソフトテニス選手権大会個人出場

〈個人予選リーグ〉 菊池 海音（1 B）・田代 悠稀（1 B）

〈決勝トーナメント〉 菊池 海音（1 B）・田代 悠稀（1 B） ペア

体操

●第77回岩手県高等学校総合体育大会 体操競技

・遠藤幸太郎（1 D） 個人総合7位

●第77回岩手県民スポーツ大会兼国民スポーツ大会選手選考会

体操競技

・遠藤幸太郎（1 D） 個人総合9位

卓球

●高総体盛岡地区予選大会@タカヤアリーナ 4/23～4/24

〈団体戦A〉 ①2－1 盛岡附属 ②4－1 盛岡農業 ③1－2 盛岡工業

〈団体戦B〉 ①0－4 誠桜 ②2－3 南昌・スコール・星北

③2－3 盛岡一

高校総体県大会出場決定→（柴田・菊地・門脇・土橋・瀬川・武田・岩館・佐々木）

〈個人戦ダブルス〉 予選敗退

・2回戦敗退 菊地（3 A）・門脇（3 B） ペア [①3－0 江南 ②0－3 市立]

・1回戦敗退 瀬川（1 B）・武田（1 C） ペア [①0－3 盛岡一]

・1回戦敗退 齊藤（2 B）・高橋司（2 B） ペア [①1－3 平館]

・1回戦敗退 柴田（3 B）・古畑（1 A） ペア [①0－3 盛岡工]

・1回戦敗退 岩館（1 B）・佐々木（1 D） ペア [①0－3 市立]

・1回戦敗退 白土（2 C）・山本（1 B） ペア [①0－3 市立]

・1回戦敗退 土橋（2 B）・高橋玲（2 C） ペア [①0－3 盛岡四]

〈個人戦シングルス〉 予選敗退

菊地 敦貴（3 A）

[①シード ②3－0 盛岡農 ③3－2 盛岡工 ④1－3 市立]

・3回戦敗退 柴田 海涼（3 B）

[①シード ②3－1 盛岡中央③1－3 盛岡三]

瀬川 隼人（2 B）

[①シード ②3－2 盛岡三 ③2－3 市立]

・3回戦敗退 武田 将司（2 C）

[①シード ②3－0 盛岡農 ③0－3 市立]

門脇 翔太（2 B） [①シード ②2－3 盛岡農]

・2回戦敗退 白土 碧泉（2 C） [①シード ②0－3 盛岡一]

・2回戦敗退 高橋 司（2 B） [①シード ②1－3 平館]

・2回戦敗退 齊藤孝太郎（2 B） [①シード ②0－3 盛岡一]

・2回戦敗退 岩館 風希（1 B） [①シード ②0－3 市立]

・2回戦敗退 佐々木智生（1 D） [①3－0 盛岡一 ②1－3 市立]

・1回戦敗退 土橋 大樹（3 B） [①1－3 盛岡一]

・1回戦敗退 高橋 玲人（3 C） [①1－3 市立]

・1回戦敗退 山本航司郎（1 B） [①0－3 盛岡北]

・1回戦敗退 古畑 見尊（1 A） [①0－3 盛岡農]

●盛岡市民体育大会@盛岡市総合 5/6

〈個人戦シングルス〉14名全員参加

・瀬川2－2 ・菊地1－2 ・古畑1－2

・あとの部員 0－2

●高総体岩手県卓球大会@宮古市総合体育館 5/30

〈団体戦〉

・1回戦目 シード

・2回戦目 0－3 黒沢尻北

S 瀬川 隼人0－3 [3－11, 6－11, 6－11]

S 柴田 海涼1－3 [10-12, 11-9, 7-11, 6-11]

W 菊地 敦貴1－3 [10-12, 5-11, 12-10, 8-11]

●COI-NEXT岩手県立大学DXを活用した清掃活動に協力（卓球部＋国際交流部）

（盛岡市内河川敷とマチナカのゴミ拾い活動）7/30

武田 将司（2 C） 白土 碧泉（2 C） 瀬川 隼人（2 B）

高橋 司（2 B） 齊藤孝太郎（2 B） 岩館 風希（1 B）

山本航司郎（1 B） 佐々木智希（1 D）

●ジュニア卓球選手権大会兼全日本卓球選手権 県1次予選@花巻市総合 8/16

・4回戦敗退 瀬川 隼人（2 B）

[①シード ②3－0 黒沢尻北 ③3－0 江南義塾 ④1－3 大東中]

・3回戦敗退 武田 将司（2 C）

[①シード ②3－2 花北青雲 ③1－3 飯豊クラブ]

・2回戦敗退 白土碧泉（2 C）

[①3－1 戸塚 大雅 花巻農 ②0－3 水沢商]

・2回戦敗退 山本航司郎（1 B） [①シード ②0－3 釜石]

・2回戦敗退 佐々木智希（1 D） [①シード ②2－3 花巻青雲]

・2回戦敗退 岩館 風希（1 B） [①不戦勝 ②0－3 大野中]

・1回戦敗退 高橋 司（2 B） [①1－3 黒沢尻北]

・1回戦敗退 齊藤孝太郎（2 B） [①0－3 飯豊クラブ]

●新人戦盛岡地区予選大会@盛岡市総合体育館 9/23～9/24

〈団体戦〉→岩手県大会出場

岩手0－3 盛岡北

[S瀬川0－3 S佐々木2－3 W瀬川・武田0－3 S武田2－0 S古畑2－1]

岩手3－0 盛商

[S岩館3－1 S瀬川3－1 W瀬川・武田3－0 S武田0－3 S佐々木3－1]

岩手2－3 盛岡三

[S瀬川0－3 S武田3－0 W瀬川・武田0－3 S佐々木0－3 S瀬川3－0]

令和6年度事業実施状況 (令和6年6月1日～令和7年5月30日)		
令和6年2月28日	石桜同窓会入会式	学校体育館
3月31日	石桜同窓会90周年記念誌発行	
4月26日	総会対策特別プロジェクト会議	エスポワールいわて
5月19日	第39回石桜ゴルフコンペ	盛岡カントリークラブ
5月30日	正副会長会議	エスポワールいわて
6月14日	正副会長会議	エスポワールいわて
6月11日	同窓会監査会	学校
6月25日	第2回常任理事会	初駒
7月11日	第2回理事会	エスポワールいわて
8月1日	正副会長会議	村井ビル会議室
8月24日	石桜同窓会総会	ホテルメトロポリタン盛岡
9月4日	正副会長会議	エスポワールいわて
9月8日	第40回石桜ゴルフコンペ	盛岡カントリークラブ
9月30日	第1回常任理事会	ホテルロイヤル盛岡
10月7日	第1回理事会	エスポワールいわて
11月28日	秋浜悟史（新5回生）出版記念祝賀会	大阪都シティ大阪天王寺
12月24日	正副会長会議	エスポワールいわて
令和7年1月28日	同窓会役員選考委員会	エスポワールいわて
2月28日	石桜同窓会入会式	学校体育館
4月15日	総会対策プロジェクト会議	エスポワールいわて
4月20日	後藤康文（新8回生）お別れの会	宮古市民文化会館
5月18日	第41回石桜ゴルフコンペ	盛岡カントリークラブ

各支部、クラブOB会、同期会等活動状況報告 (令和6年6月1日～令和7年5月30日)		
令和6年6月29日	新19回生同期会（喜寿を祝い）	ホテルメトロポリタン盛岡
6月8日	歯科医師石桜会総会/講演会・懇親会	ホテルメトロポリタン盛岡
7月28日	剣道部OB会	盛岡駅前東屋
8月14日	岩手高校囲碁将棋部30周年記念式典	盛岡・クイーンズフォンテ
10月5日	東京石桜同窓会のつどい（第42回総会）	東北上野・精養軒
10月12日	新20回生同期会	ホテルエース盛岡
11月16日	紫桜会（新18回生）同期会	ゼシル Party & dining GIZELE
11月23日	新21回生（獅子の会卒業55周年記念を祝う会）	初駒本店
11月30日	日大石桜会総会	花の屋
令和7年1月17日	卓球部OB会（新年会）	ホテルメトロポリタン盛岡
4月5日	新23回生同期会	盛岡・アートホテル
7月27日	剣道部OB会	ぼっちゃん駅前店

令和6年度事業計画（案） (令和7年6月1日～令和8年5月31日)		
令和7年6月9日	同窓会監査会	学校
6月19日	第1回正副会長会議	エスポワールいわて
6月26日	第1回常任理事会	ホテルロイヤル盛岡
7月10日	第1回理事会	ホテルロイヤル盛岡
8月23日	石桜同窓会総会	ホテルメトロポリタン盛岡
9月	第2回正副会長会議	
9月23日	石桜ゴルフコンペ	盛岡カントリークラブ
10月	第2回常任理事会	
10月	第2回理事会	
令和8年2月27日	同窓会入会式	学校体育館
6月	同窓会監査会	学校
6月	正副会長会議	エスポワールいわて
6月	常任理事会	ホテルロイヤル盛岡
7月	理事会	ホテルロイヤル盛岡

支部、クラブOB会、同期会等活動予定 (令和7年6月1日から令和8年5月31日)		
令和7年6月14日	歯科医師石桜会総会/講演会・懇親会	ホテルメトロポリタン盛岡
7月25日	卓球部OB会納涼会	ホテルメトロポリタン盛岡
7月27日	剣道部OB会（稽古会・総会・懇親会）	ぼっちゃん
10月11日	新20回生同期会	ホテルエース盛岡
10月15日	九桜会（新9回生）米寿を祝う同期会	
11月	日大OB会	
11月	紫桜会（新18回生）同期会	

副会長に名久井淳(新 19 回生)、本田好郎(新 33 回生)、金子真也(新 37 回生)を選任
常任理事に新たに長谷川良久(新 20 回生)、足澤匡(新 27 回生)、佐々木聰(新 37 回生)就任

岩手中・高等学校石桜同窓会新役員

2025.10.22

役 職 名	担当部門	氏 名	回生
会 長	総括	久 慈 竜 也	新30回生
副 会 長	事業総務	名久井 淳	新29回生
同	広報	本 多 好 郎	新33回生
同	組織財務	金 子 真 也	新37回生
会 計		組織財務担当副会長・事務局	
監 事		宮 田 達 哉	新30回生
同		小笠原 千 永	新37回生
同		久 慈 拓 也	新54回生
参 与	助言・相談役	赤 澤 征 夫	新 9 回生
同	助言・相談役	武 藤 正 吾	新14回生
常任理事	事業総務	長谷川 良 久	新20回生
同	組織財務	明 戸 均	新21回生
同	組織財務	足 澤 匡	新27回生
同	事業総務	菅 原 一 也	新31回生
同	広報	佐々木 聡	新37回生
同	組織財務	須 賀 津 人	新40回生
同	広報	前 野 純 一	新45回生
同	事業総務	大 谷 陽 介	新48回生
同	事業総務	谷 藤 大 樹	新52回生
同	組織財務	高 橋 康 介	新59回生
同	事業総務	中 村 公 紀	新61回生
事 務 局		中 山 泰 志	新39回生
同		杉 村 克 明	新42回生
同		川 村 啓 彰	新64回生

石桜同窓会設立 90 周年「記念誌」が
令和6年3月31日に発刊になりました。



記念誌



別冊 協賛広告集

ご購入希望者は下記要領でお申し込みをお願いします。

販売価格 1冊 5,000 円（記念誌＋別冊協賛広告集 送料込み）

大変恐縮ですが整理の都合で前払いをお願いします。

入金確認のうえ、発送させていただきます。

※整理の都合で多少遅れる場合もあると思われませんがご容赦ください。

送金先 郵便局
加入者名 岩手中学高等学校同窓会
口座記号 02330-2
口座番号 10326

問い合わせは、E-mail 又は FAX をお願いします。

info@sekiou-ob.com

FAX 019-651-3454 石桜同窓会宛

母校ホームページとあわせ、同窓会のホームページも開設中

●岩手高校ホームページアドレス <http://www.iwate-jh.ed.jp> ●石桜同窓会ホームページアドレス

新 <https://sekiou-ob-com/wp/>



旧 <http://sekiou-ob-com>



クラブOB会

■石桜剣道部会

今年度の石桜剣道部会総会。令和7年7月27日（日）、星の稽古会（岩手高体育館）の後、17時～19時まで盛岡駅近くの居酒屋「ぼっちゃん駅前店」において、総会&懇親会が行われました。

その自信は、長い人生を生きていく上で、大いに役に立ちます。

長、IBC放送記者の佐藤OBが参加。7名の高校生（1・2年生）と竹刀を交え、汗を流しました。夜の部にはOB9名（柴内副顧問含む）と高校生7名が参加。総会後、中村前副会長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。高校生&OB（70歳前後）の自己紹介・近況報告を中心に、昔の思い出話に花が咲きました。

今回は、居合道7段に昇段した川村正文OBの昇段祝いも兼ねて行われました。毎年同じ内容の話になりますが、やはり楽しいものです。

「文武不岐」：これは、学問・スポーツ（武道）には、境目がないという意味の言葉です。人が世に出ていくに当たって、生き抜く力を備えておくことは極めて重要です。では、どこで、その力を養うのか。私はそれをスポーツ（武道）に求めます。スポーツ（武道）で心身を鍛錬している子どもたちは、本来もっている力を十分に発揮し、困難を乗り越えていくプラスの自分

を形成し、それを発見・確認することができず。頑張れば頑張った分だけ得るものがあるし、報われます。その自信は、長い人生を送るに打って「10代の多感な時期に、スポーツ（武道）に全精力を注ぎ込む日々を送ることは、その後の人生を充実あるものにしていく上で欠かすことのできないものです。

嫌なこと、苦手なこと等に耐え抜き、挑戦し、それを乗り越えた経験・体験：これが、頑丈な脳幹を形成していきます。「鉄は熱いうちに打て」：10代の多感な時期に、スポーツ（武道）に全精力を注ぎ込む日々を送ることは、その後の人生を充実あるものにしていく上で欠かすことのできないものです。

OB通信
菅原東一郎（新16回生）が第77回「三軌展」で佳作受賞
令和7年5月14日～26日に国立新美術館で開催された第77回三軌展で菅原東一郎（新16回生）が絵画部門作品名「ドックのある風景」で会友推挙で佳作賞入賞しました。

第41回石桜ゴルフコンペ
令和7年5月18日
参加者32名 於 盛岡カン
トリッククラブ
優勝 吉田久勝（新15回生）
2位 藤村 靖（新30回生）
第42回大会
令和7年9月23日
参加者37名 於 盛岡カン
トリッククラブ
優勝 吉田久勝（新15回生）
2位 吉田公一（新13回生）

第42回大会 優勝 吉田久勝氏

令和8年度 同窓会行事 開催案内
●第43回石桜同窓会ゴルフコンペ
期日 令和8年5月中旬予定
会場 未定
●令和石桜同窓会総会
期日 令和8年8月22日（土）
会場 ホテルメトロポリタン盛岡（本館）
詳細は決定しだい、ホームページにてご案内いたします。案内ページ内の参加申込フォームからも参加申込がいただけます。皆さんと総会でお会いできることを楽しみにしています。



- 第44回石桜同窓会ゴルフコンペ
期日 令和8年9月中旬予定
会場 未定
- 東京石桜同窓会のつどい
期日 令和8年10月3日（土）予定
会場 東京上野・精養軒
- 石桜同窓会 入会式
期日 令和9年2月27日
会場 母校体育館

■秋浜悟史（新5回生）の「ある地方高校生の日記」が発行され出版記念式典に祝辞を述べる

出版に当たり石桜同窓会では写真提供等協力した関係で式典に招待された。令和6年11月28日大阪都心テイク大阪天王寺で開催され、式典に石桜同窓会より赤澤常任理事が出席し祝辞を述べました。



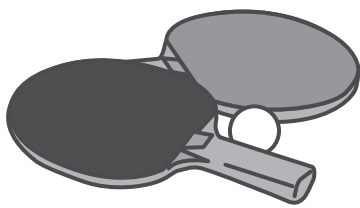
「ある地方高校生の日記 1950～1952」は岩手高校時代の日記をまとめた書籍である。出身の洪民村では石川啄木を継ぐ才と謳われ、劇作家・演出家、そして演劇教育者として多大な功績を残し、演劇界の巨星としてその名を知られている同窓生である。早稲田大学で学生劇団「自由劇団」に参加。1960年に「劇団三十人会」を旗揚げし、話題作を次々と世に送り出した。第1回紀伊国屋演劇賞、演劇界の芥川賞の異名を持つ岸田国士戯曲賞を受賞。当時、全国の公立高校で随一の演劇科があった



叙 勲

2025秋の叙勲

旭日小綬章 高橋 重幸（新23回生）



母校創立100周年記念事業要綱が発表された

令和8年2月11日 岩手中・高等学校創立100周年記念日
令和8年9月29日 岩手中・高等学校創立100周年記念式典
令和8年9月29日 岩手中・高等学校創立100周年記念祝賀会

岩手中・高等学校創立100周年記念誌の発行

事業の実施にあたり、「岩手中・高等学校創立100周年記念事業募金」を実施

【募集要項】

1. 目的 創立100周年記念事業実施のため
2. 使途
・石桜体育館（仮称）の建設
・その他記念誌業実施に要する経費
3. 募金目標金額 6,000万円
4. 募集金額
・個人1口 10,000円（卒業生、在校生保護者、役員・教職員、一般）
・法人1口 30,000円（企業、団体）
※複数口でご協力いただければ幸いです。
5. 募集期間
令和7年9月1日～令和8年9月30日

寄付金募集のご案内 岩手中学校・岩手高等学校
<https://iwate-jh.ed.jp/about/bonate>



「ある地方高校生の日記 1950～1952」は岩手高校時代の日記をまとめた書籍である。出身の洪民村では石川啄木を継ぐ才と謳われ、劇作家・演出家、そして演劇教育者として多大な功績を残し、演劇界の巨星としてその名を知られている同窓生である。早稲田大学で学生劇団「自由劇団」に参加。1960年に「劇団三十人会」を旗揚げし、話題作を次々と世に送り出した。第1回紀伊国屋演劇賞、演劇界の芥川賞の異名を持つ岸田国士戯曲賞を受賞。当時、全国の公立高校で随一の演劇科があった

1. 掲載情報の提供について

皆さんの同期会、支部、クラブOB会等や、同級生の活躍や叙勲のご紹介等の情報をお知らせください。
掲載を希望される方は、事務局メールアドレス（info@sekiou-ob.com）または2次元コード（表示ページ内のフォーム）からお知らせください。



2. 広告掲載について

郵便料金の改定等に対応するため、同窓会公式HPや来年度発行の会報に、広告掲載のご協力いただける同窓生の方は、事務局メールアドレス（info@sekiou-ob.com）または2次元コード（表示ページ内のフォーム）からお知らせください。

